

ボルネード 製品保証書



型 名	ボルネード・ヒーター iControl-JP		
お 客 様	ご住所〒		TEL :
	お名前 様		
保証期間	お買い上げ日より	お買い上げ年月日	
	3 年	年	月 日
販 売 店			

米国ボルネード・エアー社日本総代理店 株式会社エヌエフ貿易

〒176-0023 東京都練馬区中村北1-5-9 第二永崎ビル2F

TEL : 03-3970-1306 / FAX : 03-3990-7871

本書は当社経由で輸入し、販売した VORNADO AIR, LLC の製品につき、本書記載の内容で無料修理またはお取り替えを行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体添付ラベルの注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、下記までご連絡ください。
2. 次のような場合は、保証期間内でも修理が有料となります。
 - 1) 使用上の誤り、過度の高温、高湿度、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷。
 - 2) お買い上げ後の落下や運送上の故障および損傷。
 - 3) 地震、火災、塩害、ガス害、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障および損傷。
 - 4) 本書のご提示がない場合
 - 5) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書換えられた場合。
 - 6) 業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の事故および損傷。
3. 製品改善のため、モデルチェンジまたは製造取りやめをご購入者に連絡なしに行うことがあります。その場合は同じような部品または製品で代替させていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid in Japan only.

修理のご依頼や取扱方法に関するご質問等は、下記までお願いします。

TEL:0120-390-747

(受付時間 平日10:00~17:00)

<http://www.vornado.jp>

ボルネード・ヒーター iControl-JP

取扱説明書 〈保証書付〉

本製品は一般家庭・オフィス用です。



お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しく安全にお使い下さい。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
この取扱説明書は巻末に保証書が添付されています。
大切に保管してください。

Vornado Heater iControl-JP
Owner's Guide

・ 安全上のご注意	3
・ VORNADOについて	6
・ ボルネード・ヒーターiControl-JPの特長	7
・ 各部名称	8
・ ご使用方法	10
・ 安全装備	12
・ 上手な使い方	14
・ お手入れ方法	14
・ ご使用上の注意	15
・ 故障かな？	16
・ 製品仕様	17
・ 保証書	20

▷安全上のご注意

本製品を、安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。ここでは、**⚠警告**と**⚠注意**に区分して説明します。



警告

この欄は、誤った取扱いをした時に、死亡や重傷など、致命的な結果に結びつく可能性が大きいものをまとめたものです。



注意

この欄は、状況によって傷害を受けたり、物的傷害の発生が想定されるものをまとめたものです。

⚠警告



禁止

分解したり、修理・改造をしない。

異常作動して発火・火災・感電・ケガの原因になります。



禁止

交流100V (AC100V) 以外の電源は使わない。またコンセントは単独で使い、速度調節器などの他器具と併用しない。

故障や感電、火災の原因になります。



禁止

電源コードを束ねて使用しない。

発熱による火災の原因になります。



禁止

延長コードを使用しない。

発熱による火災の原因になります。



強制

プラグは確実に差し込む。

プラグは爪の根元まで確実に差し込んでください。プラグの不完全な接続やそこにたまったホコリは、火災や感電の原因になります。定期的に乾いた布でホコリを取り除いてください。



強制

長期間使用しない時は、プラグをコンセントから抜き、定期的に電源コードの点検をする。

電源コードが破損していると絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。電源コードが破損している場合は、絶対に使用しないでください。



禁止

電源コードの取扱いに注意する。

電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、絨毯や重い物を載せたり、熱器具に近づけたり、束ねたりしないでください。電源コードが破損し、感電・発熱・火災の原因になることがあります。



禁止

濡れた手で、プラグの抜き差しはしない。

感電の原因になります。

	濡れた手で、プラグの抜き差しはしない。 感電の原因になります。
	スプレー缶をヒーターの近くに置かない。 熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発や火災の原因になります。
	ガソリン・ペンキなどの揮発しやすい液体の近く、またそれらが保管されている場所で使用しない。 引火して火災の原因になる恐れがあります。
	吸気口や温風吹出口にピンや針金などの異物を入れない。 電熱線やプロペラに触れ、感電やケガ、やけどの原因になります。
	乳幼児や自分で温度調節のできない方だけで使用しない。 ケガや事故の恐れがあります。
	異常・故障時には直ちに電源を切り、プラグをコンセントから抜く。 異常なモーター音、焦げくさい臭い、煙が出た場合にはすぐ電源を切り、プラグを抜いてください。そのまま使い続けると故障・感電・火災の原因になります。
	電源の入／切の操作は本体についている電源ボタンで行う。 プラグの抜き差しで行うと故障の原因になります。
	長時間身体の同じ部位を暖めない。 低い温度でも長時間皮膚の同じ部位を暖めていると低温やけどの恐れがあります。
	暖炉のような本体が囲まれる場所で使用しない。 熱がこもり、火災の原因になります。
	本体を衣類や寝具で覆わない。 過熱し火災の原因になります。

 注意	
	プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ずプラグを持って抜く。 電源コードを引っ張るとコードの芯線の一部が断線し、発熱や火災の原因になることがあります。
	お手入れの際は必ずプラグを抜く。 不意に作動して、ケガや感電の原因になります。
	定期的に掃除する。 ホコリが溜まると焦げくさい臭いがしたり、故障の原因になります。吸気口や温風吹出口に付着したホコリを2週間に1回は掃除してください。ケガややけどの原因になりますので、絶対に分解はしないでください。
	燃えやすい物を近くに置かない。 家具、寝具、紙類、衣類やカーテンなどは、ヒーターから最低90センチ離してください。火災の原因になります。
	衣類やペットや人の毛を乾かすためなど、他の用途に使わない。 過熱して、火災の原因になります。
	温室・浴室・プールなど高温・多湿・水のかかる場所やホコリのひどい場所では使わない。 屋内の乾燥した場所での使用を目的に作られているので、耐水・耐湿・耐塵埃機能はありません。漏電して、感電・火災の原因になります。
	直射日光のあたるところに置かない。 本体の変形・変質・性能低下の原因になります。
	ペットの暖房用に使わない。 ペットが本体や電源コードを破損し、火災の原因になる恐れがあります。
	操作パネルに水やお茶などをこぼさない。 内部に水などが入って、感電・火災の原因になります。こぼれた場合には、直ちに使用を中止してください。
	安定した平らな床に置く。 不安定な場所で使用すると、落下や転倒して破損する恐れがあります。安定した平らな床にまっすぐ立てて使用してください。
	コンセントのすぐ下にヒーターを置かない。 漏電の際、火災の原因になります。

VORNADO について

VORNADOの歴史

1920年～

ボルネード・エアー社の歴史は「プロペラ機の性能を高めたい」という一人の発明家ラルフ K・オダーの思いから始まります。彼は航空機の研究をする一方、その技術を応用してボルネード・サーキュレーターを発明します。

1940年～

戦後、ラルフの発明したサーキュレーターは製品化され、高性能扇風機として人気を博しますが、エアコンの普及と共に人気は低迷します。その後何十年にもわたる研究により、どんな空調システムもサーキュレーターを併用すると、その効率を高められることが分かり、人気は再浮上し現在に至ります。

強力な竜巻風

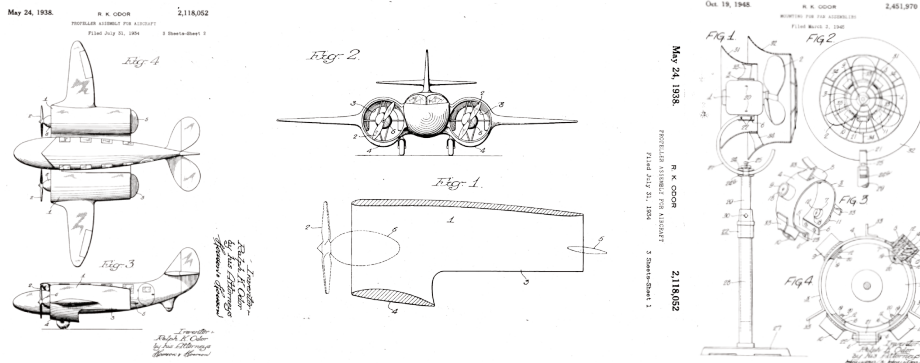
VORNADO(ボルネード)の名前の由来は
VORTEX(渦巻き)+TORNADO(竜巻)=VORNADO

VORNADOの特長は強力な竜巻風にあります。

強力な竜巻風の特長は、拡散せずに遠くまで届くことです。室内の空気を強力な渦で「かくはん」するのではなく、離れた壁や天井に空気を当てることで室内に自然な空気の流れを作り、室内全体の空気を効率よく「循環」させるのです。
そのためVORNADOの風は強力でも、感じる風はとても柔らかく快適なのです。

進化を続けるVORNADO

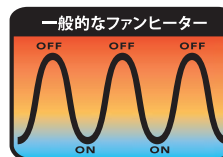
サーキュレーターを作り出した画期的な発想は、現在も様々なVORNADO製品に活かされています。VORNADOの加湿器、空気清浄器、ヒーターにはサーキュレーターの技術が応用されています。そのため部屋のすみずみまで製品の効果が行き渡るのです。



ボルネード・ヒーター iControl-JPの特徴

iControlは、ボルネード独自の空気循環技術により、部屋全体を効果的に暖めるヒーターです。iControlの放出する竜巻状の温風は、壁や天井を伝って部屋全体に行き渡ります。一般的なファンヒーターでは暖められるスペースが限られその熱は天井に上がり部屋全体には行き渡りません。

そこが iControl と一般的なファンヒーターとの大きな違いです。



一般的なヒーターの自動温度調節はオン・オフにより行われ、急な温度変化のストレスがあります。またオン・オフの繰り返しは電力をより多く必要とします。



VORNADO独自の自動温度調節機能は、設定した温度を一定に保つことができます。iControlには急な温度変化によるストレスがありません。また、暖め過ぎもなく運転音や電力を最小限に抑えることができます。

各部名称



ご使用方法

本体の使い方

1. 竜巻状の温風が途中で遮られずに部屋の反対側まで届くように製品を設置する。
2. プラグをコンセントに差し込む。
3. 本体背面にある主電源をON(Ⅰ)にする。
4. 電源スイッチ ㊟を押して電源を入れる。
5. 操作ボタンを使って好みのモード〈HIGH HEAT(強)／LOW HEAT(弱)／FAN ONLY(送風)〉を選択する。
6. 使用後、電源を切り、主電源をOFF(○)にする。

① **電源**: 主電源をON(Ⅰ)にした後、電源スイッチにより電源の入/切の操作を行います。電源が入ると赤いライトがつきます。

② **モード選択**: 操作ボタンを1度押すと液晶パネルが青く点灯しパネル下方にある〈HIGH HEAT(強)／LOW HEAT(弱)／FAN ONLY(送風)〉のモード選択が可能になります。パネルが点灯したら操作ボタンを回して好みのモードを選択します。選択したモードは点滅するので、再度操作ボタンを押して確定してください。

(注1) FAN ONLY(送風)モードでは、温風は出ません。

③ **温度設定**: HIGH HEAT(強)／LOW HEAT(弱)どちらかのモードを選択、確定すると液晶パネル右上のSET TEMP(設定温度)が点滅するので、操作ボタンを回して好みの室温を設定します。時計回りに回すと設定温度は上がり、反時計回りに回すと設定温度は下がります。好みの室温が決まりましたら操作ボタンを押して確定してください。選択した温度は液晶パネルに表示されます。

FAN ONLY(送風)モードを選択するとFAと表示され温度設定はできません。

(注2) 部屋が広すぎたり、室温が低すぎると継続運転をしても設定の温度に達しないことがあります。

④ **室温**: 液晶パネルには室温が表示されます。この室温はヒーター付近のおおよその室温になります。

⑤ **切りタイマー**: 温度設定を確定すると液晶パネル左上のTIMER(タイマー)が点滅します。操作ボタンを回して好みのタイマー時間に調整し、再度操作ボタンを押して確定してください。タイマーは1時間ごとに9時間まで設定することができます。液晶パネルには設定した時間の残り時間が表示され、設定した時間が過ぎると電源は自動的に切れます。

タイマー設定が必要ない場合は「0」のまま操作ボタンを押すか、点滅後そのままにしておくと自動的に確定されます。

⑥ **お知らせ音**: 設定を変更すると、変更が確定されたことを示すお知らせ音が鳴ります。

⑦ **液晶パネル**: 設定操作中は液晶パネルが点灯し、操作が終わると暗くなります。

⑧ **再設定**: 主電源をOFF(○)にしたり電源コードを抜くと、全ての設定が解除されます。主電源を入れ直したり、電源コードを差し直した場合には、再び最初から設定してください。停電などで電源が切れた場合にも同様に設定してください。電源スイッチのみを切った場合は、温度設定は解除されずタイマーのみ解除されます。



① 電源スイッチ

操作ボタン

回してモードや温度
選択、押して確定
します。
点滅後3秒以上放置
するとそのまま確定
されます。

リモコンの使い方



iControlの操作はすべてリモコンでも行えます。本体の設定操作が確実に行われたかどうかは、本体のお知らせ音で確認できます。

⑨ **電源**: 本体の主電源をON(Ⅰ)にし、電源スイッチにより電源の入/切の操作を行います。

⑩ **温度設定**: 温度設定ボタンを使い好みの室温を設定します。1回押しごとに設定温度は1度ずつ上下します。

⑪ **モード選択**〈HIGH HEAT(強)／LOW HEAT(弱)／FAN ONLY(送風)〉: モードボタンを押して好みのモードを選択します。

⑫ **切りタイマー**: タイマー設定ボタンを使いタイマーを設定します。1回押しごとに1時間ずつ設定時間が変化します。

⑬ **電池交換**: リモコンにはCR2032の電池が使用されています。電池交換の際には、リモコン背面下部の電池カバーを外して交換します。

(注) リモコンは玩具ではありません。ご使用上の注意に従いご使用ください。

このリモコンは無線を使用していますので、他の電化製品のリモコン操作に影響を及ぼすことがあります。

安全装備



指の入りにくい吹出口：

吹出口の隙間が狭く設計されているので、指が入りにくく怪我や事故の心配がありません。



過熱しない造り：

触れても熱くないのでやけどの心配がありません。



転倒時停止装置：

ヒーターを転倒させたり、持ち上げたりすると自動的にスイッチ(電源)が切れます。



理想的な送風口温度：

約44℃。室内全体を十分に暖めることができ、安全で熱すぎない理想的な送風口温度です。



自動停止装置：

温度の過昇を防ぐためiControlには複数の自動停止装置※が備わっています。

※ 吸気口や吹出口がふさがれたり、異物がプロペラの回転を妨げたり、製品が転倒して過熱した場合に、自動停止装置が働き電熱線への送電を停止します。その場合、手動でリセットしなければ再運転できない構造ですので安全です。万が一、自動停止装置に誤作動があった場合に作動するヒューズも装備されています。(リセット方法は右ページをご参照ください。)

その他の安全装備

- **広い底面**：底面が広いので安定性に優れています。
- **運転お知らせライト**：電源が入っているとライトが点灯するので、電源の切り忘れを防止できます。
- **赤くならない温度調節機能付き電熱線**：HIGH HEAT(強)運転でも電熱線は赤くなりません。赤くならない電熱線は安全で長持ちします。

自動停止装置のリセット方法

1. 主電源をOFF(I)にしプラグをコンセントから抜く。
2. 製品の周りに障害物があれば、取り除く。
3. そのまま5、6分置いて、本体を冷やす。
4. 再度ヒーターのプラグをコンセントに差し、主電源と電源スイッチを入れる。これで正常な状態に戻るはずです。

上記の作業を行っても正常に戻らず何度も自動停止装置が働く場合には、直ちに株式会社エヌエフ貿易までご連絡ください。絶対に製品を分解しないでください。

上手な使い方

- iControl の温風は熱くないので、使い始めは「寒い」と感じられるかもしれませんが、部屋は数分で暖まります。風が人に当たらないように設置してください。
- 製品を持ち運びするときは、背面にあるくぼみに片手をかけ、もう一方の手で前面から支えてお持ちください。
- 狭いスペースでは、LOW HEAT(弱)モードがおすすめです。大きめの部屋では、HIGH HEAT(強)モードがおすすめです。
- 他の暖房器具と併用してお使いになる場合、またパーソナルファンとしてお使いになる場合には、FAN ONLY(送風)モードがおすすめです。(使い方はご使用方法をご参照ください。)

お手入れ方法

iControl には交換の必要な部品はございません。絶対に分解しないで下さい。分解すると保証の対象外となりますので、不具合が生じた場合には分解せずに株式会社エヌエフ貿易までご連絡ください。

⚠ モーターの軸受は、潤滑油の補給が不要なタイプです。絶対に注油しないでください。

⚠ iControl は大量の空気を動かしますので、2 週間に 1 度を目安に定期的なお手入れをしてください。必ずプラグをコンセントから抜いてから、吸気口と吹出口に付着したホコリを掃除機で吸い取り、内部のホコリはエアークラスターで隙間から吹き飛ばしてください。やけどやケガの原因になりますので、絶対に分解しないでください。

⚠ オフシーズンや長い間製品をお使いにならない場合には、ホコリがかぶらないように収納してください。コンセントからプラグを抜き、電源コードを束ねてご購入の際に商品が入っていたビニール袋に入れて収納するとホコリを防げます。モーター部分にホコリが溜まると負荷がかかり故障の原因になります。

ご使用上の注意

この商品は非常に大量の空気を吸い込みますので、2 週間に 1 度はお手入れもかねて異常がないかどうかご確認ください。

もし、下記の症状の中で一つでも当てはまるものがありましたら、直ちに株式会社エヌエフ貿易までご連絡ください。

そのままご使用を続けると、火災等の重大事故につながるおそれがあります。

- ☐ モーターからうなるような異常な音がする。
- ☐ スイッチを入れても正常に動かない。
- ☐ リセット作業を行っても正常に戻らない。
- ☐ 電源コードの角度により、作動したりしなかったりすることがある。※
- ☐ 電源コードやプラグが変形、または破損している。
- ☐ 異常な焦げくさい臭いがする。
- ☐ 羽根が異常な音を出しながら回っている。
- ☐ 羽根の回転が遅くなった。
- ☐ 本体や操作部が異常に熱い。

※長期にわたりお使いいただくと、電源コードの絶縁劣化による感電・漏電火災事故に至る恐れがあります。
コンセントからプラグを抜いた状態で電源コードを定期的に点検してください。

故障かな？

修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

現 象	ご 確 認 ください。
電源が入らない	プラグがコンセントに差し込まれていますか？ プラグをしっかりコンセントに差し込んでください。
	主電源が入っていますか？ 背面の赤いスイッチが ON (I) になっているか確認してください。
	ブレーカーが落ちたり、ヒューズが切れていませんか？ ブレーカーをもとに戻してください。 ブレーカーをもとに戻しても直らない場合には、修理が必要です。株式会社エヌエフ貿易までご連絡ください。
	本体が過熱し自動停止装置が作動していませんか？ 自動停止装置のリセット方法 (P.13) を参考にリセットしてください。
部屋の暖まりが悪い	モード設定を HIGH HEAT (強) にし、温度設定を高めてください。
	熱が放出しないように、ドアや窓が閉まっていることを確認してください。
	室内全体が暖まるまでには4～5分かかります。 しばらく様子を見てください。
主電源と電源を入れても温風が出てこない	電源を切り、プラグをコンセントから抜きます。本体底の丸いボタンを4、5回押して、引っ掛かりが無い点検してください。ボタンが正常に動く場合は、平らな場所に本体を設置し直してからプラグをコンセントに差し、高い温度設定で運転してください。その際、電源コードが本体の下に来ないようにご注意ください。 ボタンの動きが悪い場合には、株式会社エヌエフ貿易までご連絡ください。

製品仕様

モデル番号	iControl-JP		
電 圧 (V)	100		
周波数 (HZ)	50/60		
モード	強	弱	送風
消費電力 (W)	1200	600	13.5
モード設定	強/弱/送風の3段階		
幅×奥行き×高さ (cm)	30.5×26.2×33.3		
重 量 (kg)	3.1		
コードの長さ (m)	1.8		
安全装置	ヒューズ、温度過昇防止装置 転倒時停止装置		



TÜV (トッフラインランド) の S マーク、PSE マーク 認証登録商品です。

MEMO

MEMO